

衣手社こもての社

〔いにしへ松尾のひがしにあり、洪水に漂流し樹木絶て河原となる、衣手社は松尾の社内にあり〕

続 拾 秋毎にたれが染らん主しらぬから紅の衣手の社

顕 輔

続 千 涼しさに立よるからにしられけり秋風ちかき衣手の社

為 氏